

# ヤマコン 東北4拠点で被災 震災翌年から工事急増

大手コンクリート送業者のヤマコン（山形市、佐藤隆彦社長）は宮城、福島両県の拠点が被災した。その後、震災復興で従事したほか、社内体制を見直した。10年の取り組みについて佐藤社長に聞いた。



「3月11日を振り返って下さい。」

「当時、当社の支店、営業所のうち、地震によって影響を受けたのが仙台支店（仙台市宮城野区）と福島支店（郡山市）グループ会社のヤマコン宮城（石巻市）、大沢工業（福島県

が旧北上川を遡上し、事務所が浸水した。従業員は仙台支店同様、全員無事だった。」「福島支店の2拠点は直

「仙台支店は南浦生浄化センター横の七北川沿いに2kmほど上流にあり、地震後に1・5m程度の津波が押し寄せた。事務所1階部分が水没し、駐車中のポンプ車2台と現場稼働中の1台、通勤用の自家用車が流されたが、従業員は全員無事だった。一方、ヤマコン宮城は海岸から離れた場所にあるが、津波

「大沢工業は被災直後から福島第一原発の対応を迫られた。原子炉建屋など緊急工事が始まったが、放射線量の高濃度地区への従事は見合わせたいという気持ちだった。しかし、従業員が地元のために立ち上がるべきと志が高く、原発工事に入る

## 災害に強い会社目指す 業界初の認証取得

### 業界初の認証取得

「仙台市内の復興工事は完全に終息している。今後は仙台駅西口の都市開発プロジェクトや東北大学関連、中規模マンションなどの計画がある。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、本格化するのにはコロナ

「復興工事ではどのような工事に携わりましたか。」「宮城県内では、南浦生浄化センターをはじめ、仙台港津波対策工事、小名浜港工事、各種中間貯蔵施設など放射線量の問題を抱える難しい場所での工事が多く携わってきた」

「震災に強い会社を目指す」という理念を掲げ、事業継続計画（BCP）策定やレジリエンス認証を取得しました。」「BCPは震災以降、企業理念に基づき社員を守ることを重点に掲げ、14年に策定した。その後、政府が『国土強靱化貢献団体の認証に関するガイドライン』を制定し、このガイドラインに基づいて

## 特集 防災に寄与するコンクリート

「復興工事ではどのような工事に携わりましたか。」「宮城県内では、南浦生浄化センターをはじめ、仙台港津波対策工事、小名浜港工事、各種中間貯蔵施設など放射線量の問題を抱える難しい場所での工事が多く携わってきた」

「復興工事ではどのような工事に携わりましたか。」「宮城県内では、南浦生浄化センターをはじめ、仙台港津波対策工事、小名浜港工事、各種中間貯蔵施設など放射線量の問題を抱える難しい場所での工事が多く携わってきた」

「復興工事ではどのような工事に携わりましたか。」「宮城県内では、南浦生浄化センターをはじめ、仙台港津波対策工事、小名浜港工事、各種中間貯蔵施設など放射線量の問題を抱える難しい場所での工事が多く携わってきた」